

平成30年度 第4回金沢市入札制度評価委員会の審議概要

開催日及び場所	平成31年2月25日(月) 金沢市役所 第1委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 米田 満(公認会計士) 委員 松本 樹典(金沢大学教授) 委員 本間 学(金沢大学准教授) 委員 西村 督(金沢工業大学教授)		
次第	1 開会 2 審議案件 (1) 工事等に係る入札・契約手続きの運用状況等について ア 平成30年4月1日から平成31年1月31日までに係る本市発注工事 及び工事関連委託業務の結果について イ 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況について (2) 工事成績評点の入札参加資格要件での活用について (3) 制度の検討課題について (4) 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について (平成30年10月1日から平成30年12月31日) 3 閉会		
抽出案件	5件		
工事	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泉野出町1丁目地内ガス管及び配水管改良工事 ・ 北鳴中学校校舎大規模改修工事第2期(設備工事)
	随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西部環境エネルギーセンター燃焼設備等定期修繕工事
委託	制約付き一般競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢市立中央小学校建設工事基本設計業務委託並びに金沢市立玉川こども図書館及び金沢市公文書館(仮称)建設工事基本設計業務委託
	指名競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度 高畠汚水中継ポンプ場耐震補強修正設計業務委託
審議内容	別紙のとおり		
委員会による報告 又は意見の具申	平成30年度第3四半期の発注工事等に係る入札・契約手続きの運用については、適正に行われていると判断する。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
 金沢市総務局監理課 工事契約係
 電話:076-220-2101

別紙
総括

委員からの意見は、概ね次のとおりであった。
工事及び委託業務の業者選考等が適正に行われていることを確認した。

本市の入札契約手続は適正に行われており、入札契約制度に大きな問題点は見られないが、現在、国をあげての働き方改革が進められているところであり、本市においても官民一体となった取り組みが重要であることから、入札契約制度においても働き方改革の施策に呼応した、なし得る策を講じていくべきである。
今後とも国や県の動向も注視して、制度の検証を続けるとともに、適時・適切に対応していくことが重要であると考えます。

意見の詳細は、次のとおり。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p>1 工事・委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等</p> <p>○ 女性が活躍できる環境整備の推進に取り組む企業に対し、平成31・32年度の入札参加資格申請登録において加点の対象にするとのことだが、その意義は。</p> <p>○ 週休2日モデル工事の試行導入について、工期との関係はどのように考えているか。</p> <p>モデル工事の発注はどのような形態でなされるのか。</p> <p>モデル工事の導入対象を土木工事に限定した理由は。</p> <p>○ 総合評価における若手技術者育成方式の導入について、本制度を活用した場合、どのようなメリットがあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革の取組の一つである本市の女性活躍推進政策を後押しするため、より上位の格付けが必要な工事に対して受注意欲のある企業に加点するという趣旨である。 ・ 工期は若干延びると考えており、工期が限定される河川工事や早期に対応が必要な災害復旧工事など、適用が困難な工事もあることから、工期や予算上の問題を含めて対象工事を整理し、モデル工事を抽出して試行していきたい。 ・ あらかじめ発注者が指定する発注者指定型と、受注した企業から希望があり、協議が整った場合に適用する施工者希望型の二通りを考えている。前者は週休2日モデル工事であることを明示した上で、あらかじめ経費の算出にも反映するが、後者の場合には変更契約により経費の割り増しを行う。 ・ 建築工事では設備工事等、関連する様々な別工事との工程調整を伴うことから週休2日制をとることが難しいため、単独ですめることができる土木工事に限ってモデル工事の試行を開始することとした。先行導入している県においても同様の取り扱いである。 ・ これまでの制度では実績のある技術者が現場で専任することとなり、他工事の現場と兼務することができなかったが、新たな制度では指導技術者には専任を求めず、一人で複数の現場の指導者となることが可能になることから、若手技術者の育成と担い手確保につながると考えている。
<p>2 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について</p> <p>泉野出町1丁目地内ガス管及び配水管改良工事</p> <p>○ ガス・水道管工事について不調が多く、本工事はその一つとして再発注において解消されているが、他のガス・水道管工事はどのような状況なのか。 また、不調の解消にあたっては、積算の見直しと工期の延伸のどちらで対応しているのか。</p> <p>北鳴中学校校舎大規模改修工事第2期（設備工事）</p> <p>○ 本工事も一度目の発注で参加者がなく不調となった案件だが、再発注においても入札参加が可能な業者数に比べて実際の応札者が非常に少ないが、その原因は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不調となったガス・水道管工事のうち、全体の7割程度が再発注後に落札されている状況である。 本件については、工期の延長とそれに伴う積算の見直しで対応している。 ・ 本工事以外の管工事においても入札不調となる案件が数件あったことを受け、業界団体に聞き取りを行ったところ、民間工事の需要で技術者の確保が困難であることに加え、事業者の中には配置技術者が複数の工事を兼務できないと誤認識していることが判明した。業界団体からの要請もあり、説明会を行った後の入札に関しては、参加者・応札者ともに状況が改善されている。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p>西部環境エネルギーセンター燃焼設備等定期修繕工事</p> <p>○ 随意契約の案件についてはこれまでも同様の指摘があるが、機械の導入時には入札を実施し、その後の修繕等は部品の互換性がなく随意契約となっている。修繕費が高額となる場合もあることから、機器の導入時には考慮するよう今一度お願いする。</p> <p>金沢市立中央小学校建設工事基本設計業務委託並びに金沢市立玉川こども図書館及び金沢市公文書館（仮称）建設工事基本設計業務委託</p> <p>○ 基本設計業務の予定価格としては高額だが、入札参加資格要件で市内業者に限定した理由は、</p> <p>平成30年度 高島汚水中継ポンプ場耐震補強修正設計業務委託</p> <p>○ 平成28年度に一度実施設計を行っており、本件は当時の受注者が他社よりも安価な入札額で落札している。前回受注者は業務内容を熟知しており、有利な価格提示が可能な状況にあったと推測するが、随意契約ではなく指名競争入札を選択した理由は、</p>	<p>・ 業務内容が市内業者で対応可能であり、かつ参加想定業者数を考慮した結果、十分に競争性を担保できると判断した。</p> <p>・ 今回の設計にあたっては、耐震診断や耐震補強実施設計の成果品を用いることで前回の受注者以外も業務を行うことが可能であると判断し、競争機会を確保する観点から指名競争入札とした。</p>